



◎内務省委員會 内務省委員會は懇談會として内務大臣官邸に於いて十一月四日(正午)同十一日(十時半)同二十七日(十時半)開催し法律案其の他の案件につき懇談せられた。

◎臨時地方長官會議 長期戦必勝體制の強化を圖るため招集された地方長官會議は既に第一日から深更に及ぶまで會議が續行せられ、出席者も極めて眞摯な態度をもつて當面の重要問題を粗上に協議が行はれ一段の緊張ぶりをみせた。即ち劈頭東條内閣總理大臣の訓示があり、次で湯澤内務大臣並に東條陸相の訓示があつた。(訓示及説示は内務省特報に掲載) 引續き第二日たる十四日は午前八時から首相官邸に開會、政府側から東條首相以下各閣僚、内閣四長官、各省關係官、地方官側からは吉永警視總監、坂北海道廳長官、松村東京府知事以下府縣知事、中村憲兵司令官、江口朝鮮總督府總務局長その他外地代表者出席、まづ海相代理澤本海軍次官から主として送船問題に關して説示があり、成田兵庫、近

藤神奈川、三邊大阪、山内長崎、町村富山、橋本岡山、宮村廣島各知事より質疑または意見の開陳があつたのち、これに對し東條首相、鈴木企畫院總裁、井野農相、寺島遞相からそれ／＼答辨および所見の開陳があつたが、特に東條首相は烈々たる語調をもつて別項のごとき國政運用の根本方針について所信を披瀝して出席者に深い感銘を與へた。ついで寺島遞相、八田鐵相、小泉厚相の訓示があつて午前中の日程を終つて一旦休憩した。さらに午後一時再開して井野農相、賀屋藏相の訓示があり、地方長官側と政府との間に種々質疑應答、意見の開陳があつて會議を終了した。

◎茨城縣六號國道起工式に於ける告辭及式辭 茨城縣六號國道の起工式が十一月十二日舉行された。(本誌地方通信欄參照) 其の際に於ける湯澤内相の告辭及山下東京土木出張所長の式辭左の如し。

告 辭

本日茲ニ六號國道改修工事起興ノ式典ヲ舉グ、寔ニ欣ビトスル所ナリ。

抑々本國道ハ帝都ヨリ松戸、土浦、水戸、日立等ヲ經テ仙臺地方ニ通スル樞要幹線道路ニシテ、日立重工業地帯ノ飛躍的發展ニ伴ヒ戰時下軍事産業上益々其ノ重要性ヲ加フルニ至レルノミナラス、沿線地方ニハ各種重要施設を有シ其ノ使命亦緊要ナルモノアリ、然ルニ道路ノ現状ハ概ネ未改修ニ屬シ近代交通ノ需要ヲ充ス

館ハサルノ實情ニ在ルコト久シ、仍テ政府ハ曩ニ改修計畫ヲ樹立シ千葉縣松戸町ヨリ茨城縣日立市ニ至ル間ヲ繼續事業トシテ改修シ以テ此ノ要求ニ應セントス。

念フニ本事業完成ノ曉ニ於テハ沿線地方ノ開發ト相俟テ陸上交運輸送力ヲ増強シ、戰時下軍事産業ニ貢獻スル所蓋シ大ナルモノアルヘシ。

冀クハ從務各員不斷ノ努力ト關係官民ノ熱誠ナル協力トニ依リ所期ノ目的ヲ達成セムコトヲ一言述ヘテ告辭トス。

昭和十七年十二月十二日

内務大臣 湯澤 三千男

### 式 辭

本日茲ニ六號國道改良工事起工ノ式典ヲ舉グルニ當リ、諸賢ノ御臨場ヲ辱フシタルハ洵ニ欣快トスル所ナリ。

本國道ハ帝都ヨリ松戸、土浦、水戸、日立等ヲ通過シ奥羽地方ノ樞要都市ヲ結ブ重要幹線ナレドモ、幅員概ネ狭少ニシテ屈曲多ク、昭和六年以降累年ノ改良工事ニヨリ一部ハ從前ノ面目ヲ改メタリト雖セ、其他ハ多ク砂利道ニシテ近時發達セル高速車輛ノ交通ニ適セズ、然ルニ時局下沿道各地ニ於ケル軍事施設並ニ産業ノ開發等ニヨル物資ノ輸送日ニ加ハリ其重要性ヲ増スニ至リ、之ガ改良ハ焦眉ノ急ニシテ一般ノ輿望熾マザル所ナリ、政府亦其必要ヲ認め茲ニ其ノ工ヲ起スニ至レルハ慶祝ニ堪ヘザル所ナリ。

即チ改良區間ハ千葉縣松戸町ヨリ茨城縣土浦市ニ至ル間、延長四十五軒餘、工事費四百十二萬圓及ビ同土浦市ヨリ同縣日立市ニ至ル間、延長七十八軒餘、工事費九百二十七萬圓、合計延長約百二十四軒、總工事費壹千三百三十九萬圓ニシテ前者ハ昭和十五年度ヨリ工期七ヶ年、後者ハ昭和十六年度ヨリ工期九ヶ年ノ何レモ繼續工事トシテ着手セルモノナリ。

本改良工事完成ノ曉ハ帝都、日立市間沿線ニ於ケル軍事上或ハ産業上凡ユル交通運輸ニ貢獻スル所尠カラザルモノアルベシ。

然レドモ其改良區間ハ長距離ニ互リ、殊ニ大東亞戰勃發以來工事用資材其他殆ソド統制下ニアル現況ニ於テ所期ノ目的ヲ達成セシニハ各位ノ熱誠ナル御支援ニ俟ツ處極メテ大ナリト信ズ。

冀クハ官民一致協力以テ其完成ニ努メラレシコトヲ一言以テ告辭トス。

昭和十七年十一月十二日

内務省東京土木出張所長 山下 輝夫

◎理事三浦七郎氏 本會理事三浦七郎氏は十一月一日大東亞省參事官に任ぜられた。

◎河川協會總會 河川協會は十一月二十四日午後二時ヨリ鐵道會館に於テ第三回總會を開いた。參會する者二百有餘名。先づ國民儀禮を行ひ次で開會、堀切會長議長席に着き開會の挨拶を爲し次で内務大臣祝詞國土局長代讀、逓信大臣、企畫院總裁、農林大

臣の祝詞代讀ありて後、議事に入り中川副會長の後任に谷口三郎氏就任並に評議員の増員五十七名を選任し、事業報告、決算報告を爲し、會員より提出の議案三十九件を附議可決し午後四時半開會、五時より晚餐に移り席上堀切會長の挨拶に次で柴田企畫院第五部長の資材に關する講演あり、ニース「海の母」「治水戦記」映畫を觀覽に供し八時半散會せり。

◎清浦奎吾伯爵の薨去 熱海の米壽庵で病氣療養中危篤状態に陥つた清浦奎吾伯は、五日午後四時五十二分つひに薨去した。享年九十三、伯が病臥の直前にものした優國の長詩、烈々一億の肺腑を衝く左の如き辭世の句が、はからずも五日老伯生前の一知友によつて齎され、今更の如くその構想深遠、誠忠無比の至情に打たれるものがある。

- 戰禍牽連五大洲 豈容砲火及神州
- 八紘一字閩濟業 不爲利謀爲義讓
- 百戰一無君子爭 群勇徒博姦誰同
- 運籌帷幄在方寸 劣敗誰感城下誓
- 孤立無援豈足優 忠良一億護神州
- 鱗鱗沈海鯨鯨伏 月冷太平洋上狄
- 爐邊談話疑而擬 語之詐人已又詐
- 事與志違多失敗 渠應自悔自應蠲
- 英之老耄米之擬 兩々相謀何吾挑

堅艦如城沈邊海 不容鯨鯢蹴波跳

狼貪吞食一百年 蹂躪人道不畏天

驕盈無嫌誰能許 末路消沈轉可憐

抗戰多年國運傾 轉民溝谿太無情

蔣家孺兒何頑魯 尙以虛成弄兵戲

◎鐵筋コンクリート設計計算例 上卷

高見一太氏の著作で土木雜誌社から發賣されて居る。鐵筋コンクリート部材の設計に關し極力設計計算圖面を輯録したもの。即ち總説として記號鐵筋コンクリート力學の基本假定計算の精度を述べて、曲げモーメントを受ける矩形梁、曲げモーメントを受ける丁形梁等につき計算例を示したる便益な書であるか、速かに下巻の刊行を望まざるを得ない。

◎應用力學計算法 上卷

江藤禮氏の著作に係り土木雜誌社の發行せるものである。第一に力の回示法を説き次でトラスの應力圖解、靜力學の計算法、慣性モーメント、材料の性質と應力の種類、靜定梁に及んで各其の計算を示せるもの。下巻の刊行を待つて世に裨益する所少からざるを信ず。

◎近刊圖書雜誌 (寄贈交換)

○土木學會誌 (第八二卷九號)

(平井敦氏「吊橋の振り振動に對する安定性に就て」)

